

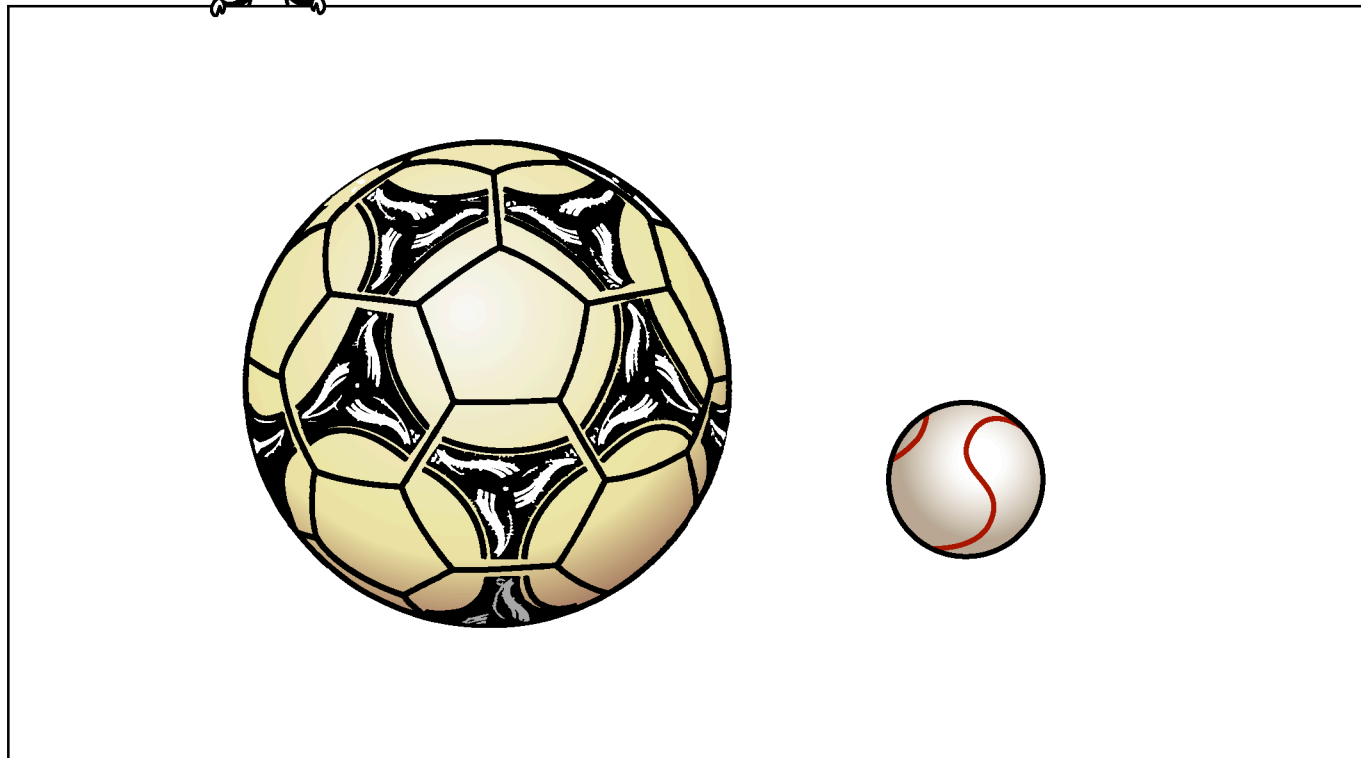
1) 上段(下段)で「どちらが大きいの(小さい)」と問う。
2) 「どちらが大きいの(小さい)」の次に「では、どちらが小さい(大きい)」と質問を反対にして問う。
4) 大きいと小さいが反対の意味をもつ対の考えであることを話題にする。

a) 比較による大小の量的な判断。数の世界は量から始まる。
b) 「大きい」「小さい」が同時に使える体験。
c) マリなど、なんらかのしるしを回答の表現として用いる体験。

Date /
Note /
評



どちらがおおきい? (→では、どちらが ちいさい?)



どちらが ちいさい? (→では、どちらが おおきい?)

